

増毛町フォトコンテスト2018

果発表

応募総数
30作品!

最優秀賞



「旧き良きを残して」

佐藤心一さん（野塚町）

復元された増毛駅舎が新たな観光名所となり今日も増毛の街を灯します。

優秀賞



「桜咲き誇る境内」

佐伯義晃さん（南暑寒町）

満開の桜の奥の厳島神社
深紅の社殿の手前の桜の
花が美しい



「光のページェント」

山本義則さん（旭川市）

花火大会を見に出かけました。海のない内陸に住むものとして港での花火は格別でした。海面に映り込む花火は想像以上にきれいでした。漁船を手前に入れて港の風情を表現しました。

入選



「にしん街道に燃ゆる漁火」

佐藤心一さん（野塚町）

盛夏の夜、大漁を求めイカ漁船が増毛の沖を明るく照らしにしん街道の様に北へと連なります。



「ふるさとの川と水平線」

山本卓矢さん（見晴町）

夕景の穏やかな水平線とは対照的に、川の中では最後の力を振り絞って上流を目指す鮭たちの過酷な世界が広がっている。



「オジロワシの幼鳥」

敦賀善敬さん（留萌市）

主に、冬になると越冬のため飛来する絶滅危惧種のワシで、全長約69~92cm 翼開長約200~245cmとされています。



「秋サケ遡上」

渡辺一夫さん（留萌市）

真っ黒に川を染めて遡上するサーモン・ラッシュに感動した。

特別賞



「しあわせ届けます」

山本義則さん（旭川市）

今は乗降客のいない駅になってしまいましたが子供のころに汽車で海水浴に行ったことを思い出して足を運びました。駅舎で楽しかった海水浴を思い浮かべる幸せな時間を過ごすことができました。帰りに郵便屋さんが集荷に来ていました。きっと「しあわせ」を運んでくれることでしょう。